

小さなことから協力を

JFTD・花キューピット協同組合 常任顧問
石川 君子

今年の夏はことのほか暑く、花の消費も芳しくなかった。花産業関係者は、それぞれに努力していることと思うが、こんな時はどうしたらよいのだろうか。

花の小売業者の団体の仕事をして、ようやく2年半になる。一口に小売と言っても、その売り方は多様で、ウエディングや葬儀、いけばな花材、法人向け、通信配達や店頭売りなど、かなり専門化していて、全体像を捉えるのは難しい。また、それぞれの関心ごとや利害も異なる。種苗業者や生産者、市場などはどのようなだろうか。

花の消費を伸ばすためには、個々の小売店の経営戦略やサービスの向上はもちろん重要である。しかし、それだけでは、花の消費は伸びそうもない。花業界は消費者の信頼を得ているのだろうか。車や電気製品や化粧品は、世界のトップブランドとなった。食料品も、BSEの発生を契機として、トレーサビリティの取り組みなど、消費者の信頼を得るための努力をしている。花も新鮮で魅力的な商品を提供できるよう、業界あげ

て取り組む時ではないだろうか。花産業関係者は、他産業や他国と比較して、消費者の信頼を得るための努力や情報公開をしているだろうか。生鮮品の品質管理に気を配ることは、産業の基本である。しかし、中小零細企業の集合である花産業が、川上から川下まで、ひとつの目標に向けて協力することは現状ではなかなか難しい。

花産業関係者が集まって、消費者の目線に立って、花産業のグランドデザインを描くことはできないだろうか。そして、そのデザインに沿って、何か小さなことから協力の輪を広げていくことはできないだろうか。

いいえ、もっと簡単に、何か協力してやって見ませんか。自分の分野や仲間の範囲を超えて手を繋いで何かやってみませんか。語り合い、お互いの経験や知識を交換し、罵り合い、何かを生み出してみようではありませんか。

花葉

2010
NO.29

目次

私の提案 小さなことから協力を……………	石川 君子 (1)
青いバラの誕生を紐解く……………	松原 紀嘉 (2)
表紙解説 チューリップのふるさと イラン……………	上田 善弘 (5)
A君と共に、「花が持つ力」を考える……………	伊藤 泰史 (6)
ホトトギスとの出会い……………	中野 優 (10)
イラン探訪記 バラを訪ねて……………	上田 善弘 (14)
ヒマラヤのテント植物とセーター植物を訪ねて……………	熱田 健 (18)
自叙伝抜粋 夜来香と桜草……………	鳥居 恒夫 (21)
JR 館山駅前花壇の設計を引き受けて……………	林 角郎 (26)
走って稼ぐ、それが俺ンち流。……………	黒澤 達也 (28)
信頼されるユリ農家を目指して……………	土居 智博 (32)
トピックス 吉池貞蔵氏 バラコンテストで金賞受賞……………	上田 善弘 (40)
100年前の松戸と園芸学部……………	横井 政人 (41)
花葉会が千葉大学に八重桜の苗木を寄贈した経緯……………	安藤 敏夫 (44)
追悼 飯塚先生との思い出……………	横井政人・羽毛田智明 (47)
2010年花葉サマーセミナーレポート……………	久保田芳久 (48)
花卉園芸学研究室レポート 変わるもの、変わらないもの……………	西岡恵理華 (52)
園芸別科花組レポート 思いが広がる「1000属検定」……………	後閑 早苗 (53)
花葉会総会 (54) 花葉会賞受賞者紹介 (58) 花葉会賞受賞記念講演 (61)	
花葉会会則・役員名簿 (57) 会員名簿の追加と訂正 (62)	

禁無断転載